# What's New

『建築家になりたい君へ』
隈　研吾／著　河出書房新社

「アオーレ長岡」や「国立競技場」を設計したことで知られる隈研吾氏が、自身の歩みを説くとともに、建築家を目指す人にむけてメッセージを送っています。著者の斬新な建築物の世界観に浸りながら、何かを感じてみませんか。

『ヤーガの走る家』
ソフィー・アンダーソン／作　長友　恵子／訳　小学館

マリンカは鳥の足が生えた奇妙な家でバーバと暮らしています。ここは死者の人生を祝福し、門から送り出して星へ返す場所。バーバはこの世とあの世の境の「門」の番人ヤーガ(魔女)で、マリンカはその役目を継がなくてはなりません。

「生きている人たちの世界を見たい」、「ずっと一緒にいられる友達を作りたい」自分の思い通りの人生を歩みたいというマリンカの願いは叶うのでしょうか。
ロシア民話をモチーフにした少女の愛と成長の物語です。

◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。


長岡市立地域図書館(7館)
□互尊文庫　TEL35-7981　□中之島地域図書館　TEL61-2165
□西地域図書館　TEL27-4900　□寺泊地域図書館　TEL75-5159
□南地域図書館　TEL30-3501　□栃尾地域図書館　TEL53-3005
□北地域図書館　TEL22-7100　☺お問い合わせは北地域図書館へ
〒940-0876 長岡市新保町 1399-3　mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp
図書館ホームページ　https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp


編集・発行／指定管理者　株式会社図書館流通センター(TRC)


ヤングアダルトとは、１２～１８歳くらいのみなさんのことです。

# YOUNG ADULT NEWS


Vol.79
2021 SUMMER


## テーマ「COLOR」

『この川のむこうに君がいる』
濱野　京子／著　理論社

私立緑野学園高校に通う梨乃(りの)は、3.11の被災者であることを隠し、知り合いのいない都内の高校に進学しました。

希望だった吹奏楽部に入部し高校生活を送る中で、自分の被災経験を堂々と話す遼と出会い、梨乃の気持ちも次第に変化していきます…。被災者に対する周囲の様々な反応、当事者同士でも震災に対するとらえ方が違うことなど、考えさせられる1冊です。

緑は安らぎを連想させ、人を穏やかな状態にする色。　**Green**

**＊PICK UP!＊**

『ダーシェンカ　愛蔵版　新装版』　カレル・チャペック／著　伴田　良輔／訳　青土社

チェコの国民的作家チャペックがワイアヘアード・フォックステリアの子犬ダーシェンカのために書いたお話とエッセイ。刊行から90年近くたった今も世界各国で愛され続けている素敵なお話です。チャペックが描いたかわいらしいイラストや写真とあわせてお楽しみください。

# COLOR

今号のテーマは「COLOR(色)」。
わたしたちの周りにはたくさんの色があふれています。
色ごとにさまざまなイメージがあり、また、色には性格や感情に影響を与える効果もあるのだとか。
今回は、赤、青、黄、緑、白、ピンクの6つの色をあげ、その色から連想する本を選んでみました。

## White

世の中でいちばん明度が高い(明るい)色、白。
神聖さの象徴として使われることも多いそうです。
純粋で新しい気持ちになれる色です。

**『白き花の姫王(おおきみ) ヴァジュラの剣』**
**みなと 菫／著　講談社**

時は奈良時代、幼い頃に目の前で父を殺されて以来、話すことのできなくなった音琴姫王(おとのことのおおきみ)が主人公の物語。
皇位をめぐる黒い陰謀や、不思議な力を持つ剣にまつわる攻防など、めくるめくストーリー展開の中、キュンとするシーンもあり、ノンストップで楽しめる1冊です。

色に関する参考資料
『色彩の教科書』　芳原 信／著　洋泉社
『色彩心理図鑑』　ポーポー・ポロダクション／著　日本文芸社

## Red

炎や太陽を連想させる赤。人を奮い立たせ、活発的にする力があるそうです。赤から連想する、力強くエネルギッシュな気持ちになれる本を紹介します。

**『赤毛証明』**
**光丘 真理／著　くもん出版**

メグは、ごく普通の中学1年生。しかし、茶髪であることを理由に生徒手帳に「赤毛証明」を押されてしまいます。

まるで普通じゃない烙印をおされたようで彼女の心中は穏やかではありません。
このことがきっかけとなり、「ふつうとはなんだろう」と疑問を持ち始めます。様々な人との交流の中で悩みながらも、徐々にその答えを見つけていくメグ。自分らしく生きるための勇気をくれるお話です。

## Blue

爽やかな空や海の色、「青春」の色にもたとえられる青は、優しく落ち着いた気持ちにさせる効果があるそう。
爽やかさを感じる物語を選びました。

**『タスキメシ 箱根』**
**額賀 澪／著　小学館**

大学の四年間、箱根駅伝を目指したけれど、出場が叶わなかった主人公の眞家早馬(まいえ そうま)。

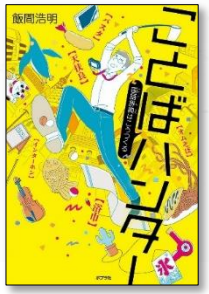
箱根出場を目指す大学に彼がコーチ兼管理栄養士としてやってくる場面から物語は始まります。
緊迫したレースシーンや箱根駅伝当日の様子がとても丁寧に描かれているので箱根駅伝をよく知らない人にも読みやすい、爽快感溢れる青春小説です。

## Yellow

明るく軽やかなビタミンカラーの黄色。楽しさや無邪気さを感じる色でもあり元気になりたいときに効果的な色だそうです。

**『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』**
**飯間 浩明／著　ポプラ社**

この本には、「国語辞典編さん者」という国語辞典を作る人がどんなことをしているのか、その仕事内容が綴られています。



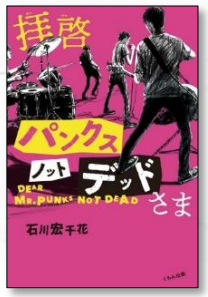

辞典を作っている人ならさぞかし日本語に詳しいのだろうと思ってしまいますが実はそんな人でもわからない言葉や悩んでしまう言葉があるのだそうです。
言葉は、1000年前はもちろんのこと、たった数年でも様々に変化しています。国語辞典を作るために日々言葉を探し集める「ことばハンター」の世界をぜひのぞいてみてください。一つのことばを調べるのに2冊以上の国語辞典を開きたくなるはずです。

## Pink

愛らしいイメージをもつピンクは、愛情や幸福を象徴する色。また、楽しい気持ちや希望を感じる効果もあるそうです。

**『拝啓パンクスノットデッドさま』**
**石川 宏千花／著　西川 真以子／絵**
**くもん出版**

高校1年生の晴己(はるみ)は、多摩地区のはずれの古いアパートで中学2年生の弟の右哉(みぎや)と暮らしています。




たまにしか帰ってこない母親が置いていくお金とアルバイトでギリギリの生活を送る晴己の支えは、小さい頃におしえてもらったパンク・ロックと、いつか兄弟でバンドをやるという夢。
取り巻く環境はつらいものだけれど、彼らが心の拠り所にするパンクを通して、キラキラとした希望や愛情が感じられる物語です。また、実在するアーティストや曲名がたくさん出てくるので、小説と一緒にぜひ聴いてみてください。